

自宅でできる日々の勤行

①まず最初にお題目を三遍唱えましょう。

『南無妙法蓮華經 南無妙法蓮華經 南無妙法蓮華經』

②どうじょうかん道場観 ほとけさま どうじょう そうねん仏様の道場であることを想念します。

『まさに知るべしこのところはすなわちこれ道場なり

しょぶつ諸仏あのかたここにおいて あのかたさんみやくさんぼだい え阿耨多羅三藐三菩提を得

しょぶつ諸仏ほうりん てんここにおいて 法輪を転じ

しょぶつ諸仏はつねはんここにおいて 般涅槃したもう』

③かんじょう勧請

仏様、そして皆様の守護神やご先祖様を、自宅にお招きするために祈ります。

『つつし謹み敬つてかんじょう勧請しなむくおんじつじょうだいおんきょうしゅ奉る 南無久遠実成ほんししゃかむにぶつ大恩教主 本師釈迦牟尼佛 なむ南無

いちじょうみょうほうれんげきょう一乗妙法蓮華經 なむまっぽう南無末法の大導師高祖日蓮大聖人 さら更にはほけきょうしゅご法華經守護

しよてんぜんじんの諸天善神 「
」家 守護の善神 別しては「
」家 先祖

しよしょうりょう代々の諸精霊 らいとうどうじょうごほうみのうじゅ来到道場御法味納受 南無妙法蓮華經』

④かいきょうげ開經偈

仏様（お釈迦様）の教え「ほけきょう法華經」読む前に唱えるようもん要文。

ほけきょう法華經・お題目のおだいもく功德をくどく讃え、仏様の教えに出会えたことを感謝し、きょうかん經巻を頂戴します。

むじょうじじんみみょう ほう ひやくせんまんごう あ たてまつ かた われいまけんもん
『無上甚深微妙の法は、百千万劫にも遭い奉ること難し。我今見聞し、

じゅじ
受持すること

え ねが によらい だいちぎ げ しごく だいじょう しぎ
を得たり。願わくは如来の第一義を解せん。至極の大乗、思議すべからず、

けんもんそくち
見聞触知。

みなぼだい ちか のうせん ほうしん しょせん ほっしん しきそう もんじ すなわ こ おうじん
皆菩提に近づく能詮は報身、所詮は法身、色相の文字は、即ち是れ応身な

むりょう くどく きょう あつ このゆえ じざい みょう くん みつ やく
り。無量の功德、皆この經に集まれり。是故に自在に冥に薫じ密に益す。

うちむ ちつみ めつ ぜん
有智無智罪を滅し善を生ず。

も しん も ほう とも じょう さんぜ しょぶつ じんじん みょうでん
若しは信、若しは謗、共に仏道を成ぜん(ず)。三世の諸仏、甚深の妙典な

しょうしょうせせ
り。生々世々、

ちぐう ちょうだい
値遇し頂戴せん』